

4 避難所について

(1) 避難所の指定等について

避難所の指定等については、「あいちの学校安全マニュアル」に記載されておりますが、当該文中に記載の【平成7年6月22日付け7教総第225号、7教管第300号教育長通知】は、下記のとおりです。

7教総第225号
7教管第300号
平成7年6月22日

各 県 立 学 校 長 殿

愛知県教育委員会教育長

県立学校における避難場所の指定について（通知）

県立学校における災害対策については日頃から配慮をいただいているところですが、各市町村では地域住民の安全を確保するため避難場所の指定を行っております。

ついでには、各学校においても避難場所の重要性を認識し、市町村から避難場所の指定依頼があった場合には下記事項に十分注意の上、積極的に協力するよう願います。

記

- 1 指定の承諾については、別紙様式1により校長が行い、別紙様式2により教育委員会へ報告すること。
- 2 当該使用方法、連絡方法等必要な事項は年1回以上市町村と十分に協議すること。
特に、指定された施設が改修等により長期間使用できなくなる場合等は、事前に市町村に通知するなど配慮すること。
- 3 すでに避難場所の指定を受けている学校にあっても同様とすること。

〔 連絡先 総務課総務担当 電話 052-961-2111 内線 3811
管理課管財担当 内線 3835 〕

様式 1

第 号
年 月 日

(市町村長) 殿

愛知県立 学校長

避難場所としての指定について（回答）

年 月 日付け 第 号の依頼については、下記のとおり承諾します。

記

- 1 指定を承諾する施設
 - (1) 避難場所の別 市町村・広 域
 - (2) 名 称 愛知県立 学校
 - (3) 場所及び数量 (土地)
(建物)
 - (4) 所在地
 - (5) 期 間 年 月 日から 年 月 日まで
- 2 その他
当該使用は、地方自治法第238条の4第4項に基づく行政財産の使用許可が必要ですのでご承知おきください。

様式 2

第 号
年 月 日

愛知県教育委員会 殿

愛知県立 学校長

避難場所としての指定について（報告）

このことについて、下記のとおり〔承諾し〕ましたので報告します。
〔解除され〕

記

- 1 指定を〔承諾し〕た施設
〔解除され〕
 - (1) 避難場所の別 市町村・広 域
 - (2) 名 称 愛知県立 学校
 - (3) 場所及び数量 (土地)
(建物)
 - (4) 所在地
 - (5) 期 間 年 月 日から 年 月 日まで
- 2 〔承諾〕 年月日
〔解除〕 年月日

(2) 避難所の開設・運営

本来、避難所の開設及び運営については、市町村が、避難所となる学校や地域の自主防災組織の協力を得て行うものですが、阪神・淡路大震災や東日本大震災、熊本地震においては、学校が避難所として主要な役割を果たし、その開設及び運営にあたっては、教職員がとても大きな役割を果たしたことが注目されました。同時に、被災者による自治活動としての避難所運営の重要性も指摘されました。

避難所開設及び運営における具体的な対応については、それぞれの市町村作成のマニュアル等に従っていただくことになります。

(3) 避難所に指定されていない学校の対応について

避難所に指定されていない学校についても、地域住民や帰宅困難者が避難してくることが予想されます。その際は、校内に児童生徒の保護エリアとは別に住民等の保護エリアを設定し、混乱を避けるとともに、市町村災害対策担当部局等の指示に従い、備蓄品が整備されている本来の避難所へ誘導してください。

なお、状況によっては現実的に避難所となることも予想されます。地域住民が避難し、水・食料等が必要となった場合は、市町村災害対策担当部局等へ支援を要請するとともに、市町村作成のマニュアルまたは「県立学校における避難所運営マニュアル」により避難所の開設・運営に協力してください。

【附属資料】「県立学校における避難所運営マニュアル」愛知県教育委員会

5 非常配備に係る各種様式**①非常連絡員調**

(県立学校災害対策実施要領 別紙様式1)

②非常配備参集状況報告【第2非常配備(警戒体制)】

(県立学校災害対策実施要領 別紙様式3)

③職員安否・参集状況確認表

(県立学校業務継続計画(BCP) 様式⑤)

④非常配備日誌

(県立学校災害対策実施要領 別紙様式4)

⑤風水害等事故発生速報

(事故発生等の報告について(平成22年3月26日付け21教総第947号教育長通知) 別紙様式1)

⑥避難場所開設・収容状況報告

(事故発生等の報告について 別紙様式2)

⑦風水害等事故発生状況報告書(児童・生徒関係)

(事故発生等の報告について 別紙様式3)

⑧風水害等事故発生状況報告書(職員関係)

(事故発生等の報告について 別紙様式4)

⑨風水害等事故発生状況報告書(施設設備関係)

(事故発生等の報告について 別紙様式5)

⑩風水害等事故発生状況報告書(教科書関係)

(事故発生等の報告について 別紙様式6)

非 常 連 絡 員 調

所 属 名 _____

所属コード _____

担当者職・氏名 _____

| 区分 | 職 ・ 氏 名 | 電話番号 |
|-----------|---------|------|
| 正 (第1) | | |
| 副 (第2) | | |
| 補 (第3) | | |

- (注) 1 正・副非常連絡員は、それぞれ教頭（副校長）、事務長の職にあるものとする。
- 2 毎年4月1日現在により作成すること。
- 3 「補（第3）」について
- ・非常配備等に係る防災安全局からの職員非常呼出システムによる伝達を指定された県立学校15校（千種、旭丘、春日井、瀬戸、一宮、尾北、津島、半田、横須賀、岡崎、刈谷、豊田西、新城、時習館、国府）のみ記入してください。
 - ・補（第3）の区分は、正又は副の非常連絡員と同一人の別の電話番号（携帯電話等）でも構いません。
- 4 電話番号は、半角数字で記入すること。

②

非常配備参集状況報告【第2非常配備（警戒体制）】

総務課長 殿

所 属 名 _____

所属コード _____

第 報 時 分現在

| 非常配備員 | | 参集時間 |
|--------|-------|-----------|
| 職 | 氏 名 | |
| 例) 教 頭 | 県立 一郎 | 2 2 : 1 5 |
| | | : |
| | | : |
| | | : |

参集完了時間 _____ :

- (注) 1 1回目の報告については、非常配備体制をとってから1時間経過後の最も早い00分又は30分に報告する。
(例 午後7時45分に第2非常配備（警戒体制）が指令された場合、1回目の報告は午後9時となる)
- 2 2回目以降の報告については、1回目の報告時点から参集が完了するまで2時間経過ごとに報告する。また、非常配備体制をとってから24時間経過後は、午前10時、午後2時、午後6時に報告する。
- 3 参集が完了した場合は「参集完了時間」を記入し、1及び2に規定した時間に報告する。

⑤ 職員安否・参集状況確認表

【第 報】

学校名：

担当者名：

月 日 時 分 現在

| No | 職名 | 氏名 | 安否状況 | | 参集状況 | | | | | |
|-----|-------|-------|-------------------------------|---------|----------------------------------|--|--------|------|----------|------|
| | | | 無事：○ 負傷：△ 死亡：× 未確認：？ | 回答時間 | 〔参集済：○ 参集予定：△〕 〔参集不能：× 未確認：？〕 | | | | | |
| | | | | | 参集状況(いずれか記入) | | 参集予定時間 | 参集時間 | 参集不能者の事由 | |
| 勤務校 | 勤務校以外 | | | | | | | | | |
| 例 | 教諭 | 県立 太郎 | ○ | 10 : 10 | × | | | ： | ： | 家族負傷 |
| 1 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 2 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 3 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 4 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 5 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 6 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 7 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 8 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 9 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 10 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 11 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 12 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 13 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 14 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 15 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 16 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 17 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 18 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 19 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 20 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 21 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 22 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 23 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 24 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 25 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 26 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 27 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 28 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 29 | | | | ： | | | | ： | ： | |
| 30 | | | | ： | | | | ： | ： | |

| 配置すべき人員 | 安否状況 | | 勤務校 | 他所属へ参集 | | |
|---------|--|-------|--------|--------|--------|--|
| | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 予め記入しておくこと </div> | 無事 | | 所属職員 | 参集済(ア) | |
| | | 負傷 | | | 参集予定 | |
| | | 死亡 | | | 参集不能 | |
| | | 未確認 | | | 未確認 | |
| | | 他所属職員 | 参集済(イ) | | | |

(注) 1 安否、参集状況の1回目の報告については、非常配備体制をとってから1時間経過後の最も早い00分又は30分に報告する。
 2 参集状況の2回目以降の報告については、1回目の報告時点から2時間経過ごとに報告する。また、非常配備体制をとってから24時間経過後は、午前10時、午後2時、午後6時に報告する。
 3 安否状況の報告については、非常配備体制をとった翌日以降、午後2時に報告する。
 4 他所属の職員が参集した場合には、他所属職員として人数を報告する。
 5 回答時間は職員非常呼出システムに対する職員の「回答時間」を記載する。
 6 報告の時間となった場合は、空欄がある場合でも速やかに報告を行う。
 7 本様式は第3非常配備発令時に使用する
 第2非常配備警戒体制発令時は、愛知県立学校災害対策実施要領の様式3により参集状況を報告する。

④

非 常 配 備 日 誌

| | | | |
|--------------------------|---------------------|---------------|--|
| 決 裁 欄 | | 記 録 者 | |
| 配 備 年 月 日 | 年 月 日 曜 日 | 天 候 | |
| 配 備 原 因 | | | |
| 配 備 員 氏 名 及 び 配 備 時 間 | | | |
| 配 備 区 分 及 び 経 過 | 第 2 非 常 配 備 警 戒 体 制 | 月 日 : ~ 月 日 : | |
| | 第 3 非 常 配 備 体 制 | 月 日 : ~ 月 日 : | |
| 配 備 事 務 の 概 要 | | | |
| | | | |

(注) 配備事務の概要は、配備事務の経過を詳細に記入すること。

⑤

風水害等事故発生速報

総務課長 殿

年 月 日 時 分現在

| 区 分 | | | 被 害 | | 報告機関名 | | |
|--------|------|-------------|--------|--------------------|-------------------------|----------------------------------|-----|
| | | | 人員・数量 | 金 額 | | | |
| 児童・生徒 | 人的被害 | 死 亡 | 人 | — | 作成者職・氏名 | | |
| | | 行方不明 | 人 | — | 所 在 地 | | |
| | | 負傷 | 重 傷 | 人 | — | 連 絡 先 | - - |
| | | | 軽 傷 | 人 | — | 事 故 種 類 | |
| | 住居被害 | 床上浸水 | cm | — | 発 生 日 時 | | |
| | | 床下浸水 | cm | — | 発 生 場 所 | | |
| | | その他の被害 | | — | 発 信 時 刻 | | |
| 教 職 員 | 人的被害 | 死 亡 | 人 | — | 被 害 状 況 ・ 応 急 措 置 状 況 等 | (例) 運動場敷地土量 300m ³ 流出 | |
| | | 行方不明 | 人 | — | | | |
| | | 負傷 | 重 傷 | 人 | | | — |
| | | | 軽 傷 | 人 | | | — |
| | 住居被害 | 床上浸水 | cm | — | | | |
| | | 床下浸水 | cm | — | | | |
| 施 設 備 | 建物 | 要新築 | 全 壊 | () m ² | () 万円 | | |
| | | | 半 壊 | () m ² | () 万円 | | |
| | | 要補修 大破以下 | | — | () 万円 | | |
| | | 小 計 | | () m ² | () 万円 | | |
| | その他 | 工 作 物 | | () 万円 | | | |
| | | 土 地 | | () 万円 | | | |
| | | 設備 (備品) | | () 万円 | | | |
| | | 小 計 | | — | () 万円 | | |
| | 合 計 | | — | () 万円 | | | |
| | 床上浸水 | | () cm | — | | | |
| | 床下浸水 | | () cm | — | | | |
| その他の被害 | | | — | | | | |

(注)

- (1) 重傷とは、1ヵ月以上の治療を要する見込みの場合をいい、軽傷とは、それが1ヵ月未満の場合をいう。
(いずれも医師の治療を受け、又は受ける必要のある場合をいう。)
- (2) 施設設備の被害区分については、「公立学校施設設備国庫負担金等に関する関係法令等の運用細目」(昭和32年4月4日文施助第62号)の定めるところによること。
- (3) 「施設設備」欄の()には、学校給食施設設備に係るものを再掲すること。
- (4) 被害金額は、復旧に要する費用を掲げること。
- (5) 床上浸水又は床下浸水が他の被害と重複している場合は両方の欄に掲げること。
- (6) 住居被害の「その他被害」の欄には、全壊、半壊、雨漏り〇箇所等具体的に記載すること。
- (7) 「被害状況・応急措置状況等」欄には、被害状況についての具体的説明及び既に実施し、又は実施しようとしている応急措置、その他参考となる事項を掲げること。

⑥

避難場所開設・収容状況報告

総務課長 殿

年 月 日 時 分現在

| | | | |
|--------------------|---------------|-------------------|------------------------|
| 報告機関名 | | 作成者職・氏名 (連絡先) | (- -) |
| 開設目的 | | | |
| 開設要請市町村 役場名 | | 要請者名 | |
| | | 日 時 | 月 日 () 時 分 |
| 開設施設等 | | 開設施設職員 の勤務体制 | 勤務時間内・勤務時間外・宿日直 |
| 開設時間 | 月 日 () 時 分 | 市町村職員到着 日時及び人数 | 月 日 () 時 分 |
| 開設職員名 | | | 人 |
| 開設時における 避難者の有・無 | 有 () ・ 無 | | |
| その後の 経過 | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 避難所閉鎖日時 | 月 日 () 時 分 | 避難者の有・無 | 有 () ・ 無 |
| その他 参考資料 | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

(注) 避難者が有の場合には、() 内に収容人数を記入すること。

⑨

(施設設備関係)

風水害等事故発生状況報告書

課長 殿

年 月 日 時 分現在

| | | | |
|--------------------------------------|---------------|-------------|-----|
| 報告機関名 | | 作成者 職・氏名 | |
| 所在地 | | 連絡先 | - - |
| 事故の種類 | | | |
| 発生日時 | 年 月 日 () 時 分 | | |
| 発生場所 | | | |
| 〔被害状況〕 | | | |
| | | | |
| 〔被害見積額(復旧)〕 | | | |
| | | | |
| 〔応急措置状況〕 | | | |
| | | | |
| 〔その他参考となる事項〕 | | | |
| | | | |
| (参考) 事故発生施設の避難所としての指定状況 指定 [有 ・ 無] | | | |

(注) 必要に応じ、図面、写真等を添付すること。

⑩

(教科書関係)

風水害等事故発生状況報告書

課長 殿

年 月 日 時 分現在

| 報告機関名 | | | 作成者職・氏名 (連絡先) | (- -) | | | | | |
|-------|-------|------|------------------|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 教科書名 | 発行者の略 | 記号番号 | 学年別冊数 | | | | | | |
| | | | | | | | | | 計 |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 合 | 計 | | () | () | () | () | () | () | () |

(注) 合計欄の () 内は、実人数を記入すること。